週報
2026 10/14
No.11
RI第2620地区
静岡第1グループ

三島ロータリークラブ
第3287回・通常例会

■会長:松田吉嗣君■幹事:綾部　剛君
●司会:八木貴夫君
■URL:http://mishima-rc.com



10月も半ばとなり、なんとなく忙しなさを感じる今日この頃です。
そんな忙しなさを掻き立てるものの一つに10月31日の「ハロウィン」もあるのではないでしょうか?!
私が小さい頃には無かったイベントですが、今や若者を中心に定着した感がありますね。
「ハロウィン」はもともとお化けなどの仮装をして悪霊を追い払うといった祭礼であったようですが、時代を経て、子供たちが仮装をして「trick or treat(お菓子をくれないとイタズラしちゃうぞ!)」と言って近所の家を回りお菓子をもらう楽しいイベントに変わって来たんですね。
最近では、子供たちが近所の家を回るなんてのも危なっかしいですかね?都心の方では色々と問題も発生しているようですが、穏やかで楽しい「ハロウィン」であって欲しいものですね。
写真はジャックオーランタンとかぼちゃのモンブランです。

会長挨拶

会長　松田吉嗣君

先週は長泉ロータリークラブ様との合同例会でございましたが、当クラブがホストクラブではなかったため、会長挨拶の時間がございませんでした。そこで準備していたお話を少しさせていただきます。
長泉町と三島市の歴史を振り返りますと、三島駅北口近くにある「東レ三島工場」は、1958年(昭和33年)に旧東邦レーヨン人造絹糸(東レ)の工場として誘致・オープンしたものです。当時、三島市と長泉村(当時)の両トップ間で「工場誘致の後に両市村を合併する」という約束のもと調印が行われました。しかし調印直後、長泉村議会にて合併反対が決議されたことで合併は立ち消えとなり、東レ三島工場は現在も敷地が長泉町にありながら「三島工場」の名称のまま営業が続けられているという歴史的背景がございます。
近年では「富士山南東消防組合」のように両市町で一体となって円滑に運営されている行政事業もございますが、先般の広域ゴミ処理施設建設の際には、建設地が熱海市に決まった途端に長泉町が離脱するなど、一筋縄ではいかない側面もございます。
行政間では様々な歴史や課題がございますが、私たちロータリークラブにおきましては、今後とも長泉ロータリークラブの皆様と互いに尊重し合い、末永く良好な関係を築いていきたいと考えております。

出席報告

	出席総数	出席率	
今　回	30／42	71．43%	会員総数:43名

＜欠席者＞
・青木君　・石井君　・大庭君　・長田君　・河田君　・古口君
・斎藤君　・佐藤良君　・瀬川君　・関君　・永田君　・星合君

ゲスト・ビジター

張　傑君(米山奨学生)

幹事報告

幹事　綾部剛君

1. 地区大会の集合・バス運行について
地区大会へ参加される皆様は、10月24日(土)朝7:00に三島駅南口(鈴木学園前)へご集合ください。せせらぎ三島ロータリークラブ様との合同バスにて出発いたします。
2. RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)パート2の案内が届いております。受講を希望される方は11月15日までに幹事までご連絡ください。
3. 11月第2例会(11月11日)にて「古着でワクチン」の古着回収を行います。会員の皆様はご自宅等の古着をお持ち寄りください。
4. 次回の例会は10月28日(水)となり、会場は「焼肉　ふじ田」様にて開催いたします。
お間違えのないようお集まりください。

卓話

「三嶋大社の御祭神と令和の大改修」
スピーカー：遠藤弘昭君



本日は、身近な地元の氏神様である「三嶋大社」の御祭神と現在進行中の事業についてお話しいたします。
三嶋大社には、大山祇命（おおやまつみのかみ）と事代主神（ことしろぬしのかみ）の二柱の神様がお祀りされており、総称して「三島大明神」と称されております。大山祇命は山や農産・産業を守る神様であり、恵比寿様とも称される事代主神は商売繁盛や福徳の神様として深く信仰されています。
神話において大山祇命には、美しい妹の「木花之佐久夜毘売（このはなさくやひめ）」と、岩のように頑丈で長寿を司る姉の「石長比売（いわながひめ）」という2人の娘がおりました。天孫ニニギノミコトに嫁ぐ際、永遠の繁栄を願って二姉妹揃って嫁ぎましたが、容姿から姉だけが父元へ返されてしまったという有名な伝承がございます。
我が家も妻が二人姉妹の長女であり、岩のように頑固なところなど神話に通じるものを感じております。
現在、三嶋大社では90年ぶりとなる「令和の大改修」が行われています。本殿の神様を本殿真裏の仮殿へお移しする「仮遷座祭」が執り行われており、改修工事が完了した際には再び本殿へお戻しする盛大な「本遷座祭」が執り行われる予定です。歴史的な節目となりますので、ぜひ皆様もご注目ください。

「インターアクト指導者講習会の事前案内」
加藤 真理子 君 / 説明代行：小松 大輔 君



今週末10月18日（日）に、当クラブがホストを務める「インターアクト指導者講習会」が日本大学三島高校（三島駅北口キャンパス）にて開催されます。当日の流れと注意事項をご説明いたします。
集合・服装：ロータリアンは朝9:00に三島駅北口ミニストップ隣の「日大国際関係学部キャンパス」に集合してください。識別のためオレンジ色のベストをご着用ください。
駐車場：北側の駐車場をご利用いただけますが、他団体も使用するため奥から詰めて駐車をお願いいたします。
当日プログラム：9:30受付、10:00開会式、10:30全体研修（クイズ等）の後、9グループに分かれて「理想の海外研修プラン（テーマ：ボン・ボヤージュ）」を企画・プレゼンするグループワークを行います。プログラム全体は高校生が主体となって進行いたします。
ロータリアンの役割：受付での誘導・案内、お帰りの際のお見送りが当クラブの重要役割となります。グループワークの際には、大人の知見として高校生主体の議論を優しくサポート・助言していただければ幸いです。

「三島時間と三島ロータリークラブの歴史」
スピーカー：渡邉 脩助 君



昔の三島には、会合や集まりがあっても参加者が予定時刻に必ず遅れて集まるという「三島時間」と呼ばれるのんびりとした風習がございました。しかし、1957年（昭和32年）5月に「三島ロータリークラブ」が創立されたことで、この「三島時間」が劇的に改善されたという歴史がございます。
ロータリーでは例会開始時刻（12:30）を守ることが厳格に求められ、SAAによる点呼や厳しいメイクアップ規定のもとで運用されました。商工会議所や商店街の経営者たちがロータリーに入会したことで、時間厳守の習慣が市内に浸透し、商店街の定休日制定など、三島の人々の生活様式やビジネス意識の改革に大きく貢献いたしました。このお話は、チャーターメンバーであり紳士的で人望の厚かった故・勝又一郎先輩から直接伺った貴重な思い出です。
創立から70年を迎えるにあたり、ロータリーが地域に果たしてきた役割を再確認するとともに、ポリオ根絶活動など世界へ向けた奉仕の精神を次世代へ引き継いでいくことが大切です。ポール・ハリスが「ロータリーは時代と共に変わらなければならない」と述べたように、時代の変化に対応しながら、若手メンバーの皆様には今後のクラブを大いに盛り上げていっていただきたいと思います。

会員祝事

会員誕生日：加藤頌吾君
奥様誕生日：杉村伸二郎君　小松大輔君
結婚記念日：加藤真理子君　太田成幸君



スマイルBOX

●竹中千夏君
9月13日に川奈ホテルに泊って参りました。初めての川奈ホテルの宿泊でしたが、お部屋も景色も温泉もとても素晴らしく、とても楽しかったです。チケットをお贈りくださった西原さん、誠に有難うございました。譲ってくださった松田会長さんと、松田会長さんにお話ししてくださった山田さんも有難うございました。

●小野徹君
腰痛に痛めつけられて弱っています。皆様も気をつけましょう。